

＜一般演題 口頭発表＞ 6月23日(土) 16:45-18:00 会場1 (1階 ホール)

セッション① いのちの尊厳を考える

座長: 豊田久美子(京都看護大学)

- ①-1 がん患者・家族の終末期における関係性—納得いく最期を迎えるための一考察—  
「研究」 ○萬谷和広、川口美度理(大阪南医療センター)、梓川一(東大阪大学)
- ①-2 看護記録における「身の置き所のない」という記載についての質的評価  
「研究」 ○入澤仁美(兵庫医科大学)
- ①-3 看護師のジレンマ体験を生かすために—患者の尊厳を重んじる看護にむけて—  
「研究」 ○岩下ユキ(佛教大学・阿蘇医療センター)、村岡 潔(佛教大学)

＜一般演題 口頭発表＞ 6月23日(土) 16:45-18:00 会場2 (2階 会議室1～3)

セッション② 生活を支援する

座長: 諏訪茂樹(東京女子医科大学)

- ②-1 学校における生徒の精神保健にかかわる多職種連携—虐待の発見と支援—  
「実践」 ○近森栄子、安藤仁美(園田学園女子大学)
- ②-2 中国農村部における社会福祉制度の改革が持つ意味と役割  
「研究」 —「兩大会議」から見た新たな動向と問題—  
○賈 子申(佛教大学)
- ②-3 難病者を取り巻く社会環境と生活支援の考察  
「研究」 ○梓川 一(東大阪大学)、萬谷和広、川口美度理(大阪南医療センター)

＜一般演題 口頭発表＞ 6月23日(土) 16:45-18:00 会場3 (3階 研修室1～2)

セッション③ ケアのあり方を考える

座長: 深井穫博(深井保健科学研究所)

- ③-1 集中治療室の看護師の薬剤に関する確認行動の実態—法的責任の認識調査との比較—  
「研究」 ○山田利恵(滋慶医療科学大学院大学・三菱京都病院)、飛田伊都子(滋慶医療科学大学院大学)
- ③-2 医療的ケアを必要とする在宅療養児を支える訪問看護の実際  
「研究」 ○小坂素子(兵庫県立大学大学院)
- ③-3 不妊女性が捉えた治療と仕事の両立に対する困難感と職場内の人からの支援  
「研究」 ○澤田敏子(梅花女子大学)

<一般演題 口頭発表> 6月24日(日) 9:00-10:15 会場1 (1階 ホール)

セッション④ 看護教育を考える

座長: 安酸史子(関西医科大学)

- O-④-1 看護ケアリング教材としてのM.ミード「看護—原初の姿と現代の姿」  
「研究」 —タッチングの本質把握から技術適用への架け橋として—  
○山崎裕美子(姫路獨協大学)
- O-④-2 パーキンソン病患者への看護ケア実践を通じた個別理解につながる実習指導  
「研究」 —老年看護学実習記録の分析から—  
○日野徳子(関西国際大学)、小宅比佐子((公財)フランスベット・メディカルホームケア研究・助成財団)
- O-④-3 実習指導者講習における実習場面の人間関係分析—プロセスレコードと状況分析マップを用いて—  
「実践」 ○平山香代子、松丸直美、青山美紀子(亀田医療大学)、上原真理子(亀田総合病院)

<一般演題 口頭発表> 6月24日(日) 9:00-10:15 会場2 (2階 会議室1~3)

セッション⑤ 意思決定を支援する

座長: 宮本真巳(亀田医療大学)

- O-⑤-1 知る権利と意思決定支援との関係に関する研究  
「研究」 —スウェーデンMTM機関の取り組みから見えてくる日本の課題—  
○小林美津江(佛教大学・大原学園姫路校)
- O-⑤-2 MSWの早期介入による肺がん患者への意思決定支援  
「実践」 ○川口美度理、萬谷和広(大阪南医療センター)、梓川一(東大阪大学)
- O-⑤-3 行動変容を目指すカウンセリングの評価システムの構築—動機づけ面接治療整合性尺度を用いて—  
「実践」 ○大坪陽子(東京医科大学)、松尾邦功(KUNIX)、國友史雄(ちば県民予防財団)

<一般演題 口頭発表> 6月24日(日) 9:00-10:15 会場3 (3階 研修室1~2)

セッション⑥ セルフケアを考える

座長: 岡 美智代(群馬大学大学院)、森谷 満(北海道医療大学)

- O-⑥-1 当事者活動における経験・活動の固有性と共感  
「研究」 ○杉本洋(新潟医療福祉大学)
- O-⑥-2 自助グループに参加するアルコール依存症者の回復過程  
「研究」 —12ステップを実践している2事例の語りから—  
○高濱圭子(東京医科歯科大学)、宮本真巳(亀田医療大学)
- O-⑥-3 セルフスティグマが2型糖尿病患者の自己管理行動に及ぼす影響 横断研究  
「研究」 ○加藤明日香(東京大学大学院)